

APCO KARMA EVO

ハイテク産業の発展がめざましいイスラエルに本社工場のあるアプコは、高品質のパラグライダーを30年以上にわたって製造している。

2006年に発売されたエントリーモデル「カルマ」は、イージーで頑丈な入門機として世界中のスクールで大好評を博した。

そのカルマを、もっと速く、もっと安全にと
発展=Evolutionさせたモデル「カルマEvo(エボ)」を
Sasukeが山飛びとパラモーターの両方で試乗、レポート!

機体構造

●マテリアル

セイルクロスは上下面ともにゲルベノール社の最新シリコンコーティングナイロン。しっとり、なめらかな肌触り。軽量化が進み、初代カルマの生地と比べて1㎡あたり48%軽く、キャンビー全体では1kgも軽くなっている。

すべての縫製は太めの糸を使用、緻密でとても丁寧な仕上がりになっ

ている。

●デザイン

キャンビー形状は全くの新設計で、地面に広げた展開形状のみ歴代カルマと似ているが、エアインテークがわずかに小さく見える。最大の特徴はその短いライン。初代カルマに比べてMサイズでは1・2mもキャンビーがパイロットに近いところにある。しかもカスケード(枝分かれ)を増やし、トータルライン長を40%以上も削減している

という。

比較的小さいラインのため、正面から見たアーチは大きく、投影面積が初代カルマより4%も小さい。

リーディングエッジにはFLEXIONと呼ばれる樹脂製パテンが縫いこんであり、キャンビーを広げただけでエアインテークが起き上がっている。ライズアップが楽しみだ。

ライザーはオーソドックスなA+A

ライザー

ライザーはオーソドックスなA+A

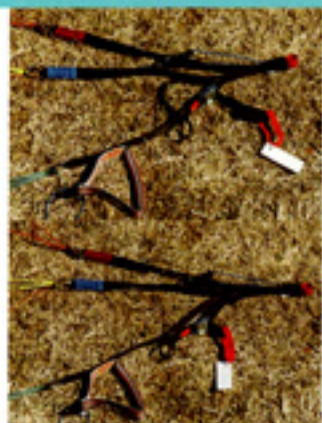
山飛びでもモーターでも使える オールマイティーな翼



山エリアでソアリング

まずは、山飛び。場所は静岡県富士宮市のスカイ朝霧、本日の天気は快晴で、バンビーな春の風。

+B+C(Aは翼端用)の4本。これは基本的にモーターライザーで、Cライザーにトリマーが付いている。このトリマーには不用意にリリースされないように、磁石でバックルをカバーするガード機能が備わっている。



FLEXONにより、エアインテークが起き上がっている。

使用ハーネスはアプロ製チェアバックタイプで、重量は2・5kgという超軽量ながら、裏返せばキャンビー他全装備を収納できるバックパックになるという超優れモノだ。

筆者の装備重量は90kg弱で、キャンビーサイズはM。投影面積は24・4㎡で最近のパラモーターキャンビーとしてはユニット重量を入れても少し大きめ。オレンジのベースに緑白のおしゃれなアクセントが今っぽい。オーダーカラーやロゴ入れも可能だ。

さっそく猪之頭テイクオフで広げる。サスペンションラインが短くて少なく、びっくり。簡単にラインチェックは終了した。

ライディングエッジはFLEXIONのおかげで最初からエアインテークが起き上がっていて、飛び気満々。正面からの強めのブローに合わせて、トリマーニュートラルでライズアップ。すぐ立ち上がり、真上で静止している。

先代のカルマに比べてラインが短く、手が届きそう。正面を向き、上を見なくてもキャンビーの挙動がダイレクトに伝わってくる。これなら、まったくの初心者でも始めから簡単に飛ばさう気がする。数歩走って楽々テイクオフ。

上空は強いサイド気味のソアリングコンディション。カルマエポはアクセルを踏まなくても、ぐんぐん前にまっすぐ進む。何機かは潰れてレスキューを投げている中でも、ビクともしないキャンビー。なんとという直進安定性だろうか。

ランディング場を通り越してから、上空で右に左に大きなバンクでターン。中上級機に比べればブレークコードの引き代が大きい。ブレークアプレッションと旋回の挙動がリニアで、とてもわかりやすい。

なかなか高度が下がらないので、Aライザーを左右同時に引き翼端を折ってみる。意外と軽く、40cmほどでビッグイヤーに入った。マイナス3m/sほどで沈下し、片方のAライザーだけを放すと一瞬で片側が回復し、ゆっくり旋回に入る。さすがEN・Aクラスだ。ビッグイヤーを保ったまま体重移動で数回旋回し、ファイナルアプローチ。地上間際でAライザーを両方放し、瞬間に回復。ターゲット近くにランディングすることが出来た。

早速エンジンユニットを背負い、トリマーをほぼ全開で、バックでライズアップ。微風の中でも、キャンビー全面に一瞬で荷重が掛かり、ストレスなく立ち上がる。何もなくても、真上で止まっているので、ゆっくり振り返り、スロットルを少し開け助走、軽々テイクオフできた。

まずはスロットルを絞って水平飛行。トリマーはニュートラルでGPS読み28〜32km/h。決して遅くない。スロットルを開きパワーを掛け、高度を稼ぐ。いつも乗っているリフレックス機に比べて、パワーONによるピッチングが大きく、モタつき感があるが、反動トルクによる修正がまったく不要で、手ぶらのまま、まっすぐ上昇していく。これはラクだ。慣れない初心者でも、操作を誤ることはまずないだろう。

ランディング場上空、高度200m程でエンジンをカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを長く取り、フルグライドすると沈下率が安定し、降りる場所が丸見え。地上1mくらいでブレークを腰あたりまで引いて、ターゲットと真ん中にランディングできた。

トリマーを全開にする。5km/hほど加速し、風の音が変わる。キャンビーの挙動は安定したままで、左右操作でも変化はない。このトリマーはパラモーター専用で、地上の風速に応じて一度操作すればあまり気にしなくても良さそうだ。

ランディング場上空、高度200m程でエンジンをカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを長く取り、フルグライドすると沈下率が安定し、降りる場所が丸見え。地上1mくらいでブレークを腰あたりまで引いて、ターゲットと真ん中にランディングできた。

ランディング場上空、高度200m程でエンジンをカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを長く取り、フルグライドすると沈下率が安定し、降りる場所が丸見え。地上1mくらいでブレークを腰あたりまで引いて、ターゲットと真ん中にランディングできた。

ランディング場上空、高度200m程でエンジンをカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを長く取り、フルグライドすると沈下率が安定し、降りる場所が丸見え。地上1mくらいでブレークを腰あたりまで引いて、ターゲットと真ん中にランディングできた。

ランディング場上空、高度200m程でエンジンをカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを長く取り、フルグライドすると沈下率が安定し、降りる場所が丸見え。地上1mくらいでブレークを腰あたりまで引いて、ターゲットと真ん中にランディングできた。

KARMA Evo

サイズ	XS	S	M	L
セル数	38	40	40	42
翼面積(実測)㎡	24.55	26.3	28.5	30.4
翼面積(投影)㎡	20.85	22.55	24.4	26.2
スパン(実測)m	10.7	11.35	11.8	12.5
スパン(投影)m	8.56	9.08	9.45	10
アスペクト比(実測)	4.66	4.9	4.9	5.13
アスペクト比(投影)	3.47	3.65	3.65	3.81
飛行重量(フリーフライト)kg*	55-80	70-95	85-110	105-130
飛行重量(パラモーター)kg**	70-95	85-110	90-135	120-145
機体重量 kg	4.5	4.9	5.3	5.7
ルートコード m	2.81	2.81	2.93	2.93
チップコード m	0.7	0.7	0.73	0.73
速度(min/trim/max)km/h	21/37/47**			
最小沈下速度 m/s	1.1			
総ライン延長 m	241	254	266	300
安全規格(EN)	-	A	A	-

*1 EN認定を受けた飛行重量で、パラグライダー・ハーネス等、全装備を含みます。フリーフライト(山飛び)は、この重量範囲を目安にしてください。
*2 パラモーターフライトに使用する場合は、この重量範囲を目安にしてください。
*3 アクセル使用時

製造元: アプロ/イスラエル
輸入・販売元: 株式会社 ムエッティ
〒303-0012 茨城県常総市大崎町308-1
TEL) 0297-22-5910
FAX) 043-332-8999
MOBILE) 090-3411-7040
URL) http://www.lamouette.info/



APCO超軽量エアバックハーネス、裏返すとパラバックになる。



覚えた春のサーマルでも余裕でソアリング。



パラモーターでも簡単なライズアップと素直なハンドリング。軽量で強力なユニットでも余裕のフライト。

結論
カルマとは古代インド哲学の用語で、「行い」「業」という意味。欧米では「果報をもたらす神秘的な力」という意味で使われ、アプロのカルマも「神秘的かつ実践的な道具」という意味合いだ。

わかりやすく簡単な操作で空を飛ばすことのできる魔法のような道具、それがカルマエポだ。簡単なライズアップとランディング。覚えた空域でもビクともしない安定感に、目を見張る直進性能と素直な旋回性能。カルマエポはビギナーからベテランまで満足できる機体だ。